

磁気・電気刺激療法チーム 2024 年度活動報告

○福田 智哉¹⁾、金井 敦史¹⁾、森元 莉子¹⁾、唐川 佳明²⁾

1) 医療法人 誠和会 倉敷記念病院リハビリテーション部

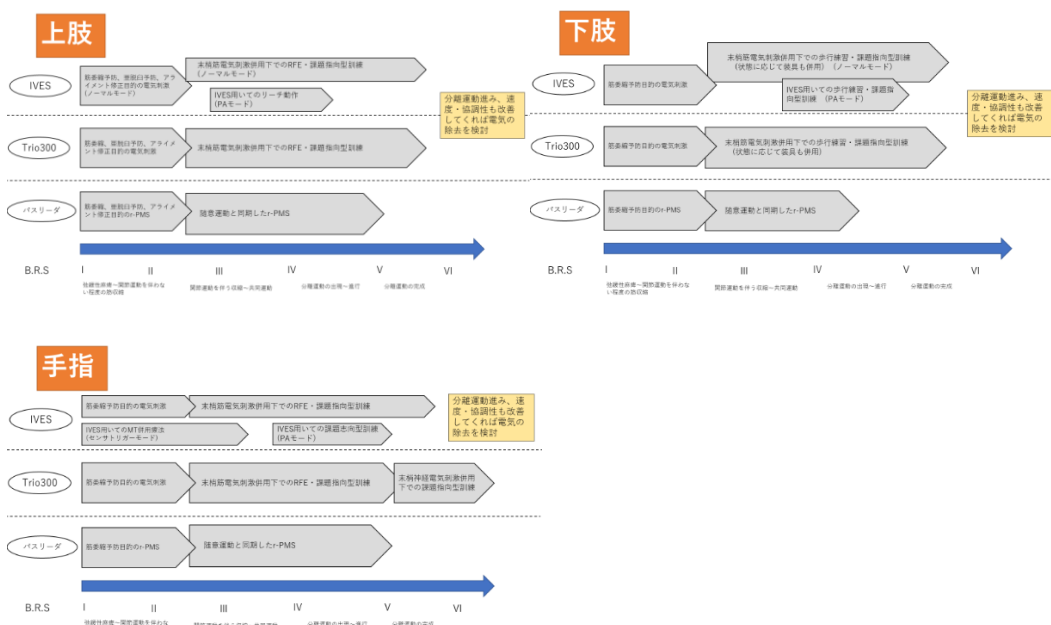
4) 医療法人 誠和会 通所リハビリせいわ

【はじめに】

磁気・電気刺激療法チームでは、種々のガイドラインにて推奨されている電気・磁気刺激療法に関してリハビリテーションセンター内での電気刺激療法の推奨を行い、患者個々人の治療効果を最大限に上げる事を目標としている。しかし現状では各個人がそれぞれの機器の特性や患者の回復段階に応じた適切な使用方法を十分に把握できているともいえず、特に電気刺激機器 (IVES、Trio300) の使用頻度は少ない。そのためスタッフへの啓蒙、プロトコル作成に向けての活動を行ったので以下に報告する。

【活動報告】

プロトコルの作成：各機器の基本的～応用的な使用方法を調べ、磁気刺激・電気刺激を合わせたプロトコルを試作した。また理論や効果、使用法に関する文献のファイリングを行った。



【今後の展望】

次年度にはプロトコルを全体に呈示できるよう作成を進めていく。また治療法に関する啓蒙を積極的に行い、使用頻度の向上を図っていく。